


広岡 淳二

ひろおか じゅんじ / Hirooka Junji

<p>所属・役職</p>	<p>(一社)九州テレコム振興センター (KIAI) 専務理事</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>日本国内</p>	
<p>略歴</p>	<p>1988年 北九州市入庁。 1998年～2005年 総務省管轄研究機関 (TAO～NICT) に長期派遣。 2007年 九州情報通信連携推進協議会を立ち上げ。北九州市を早期退職。 2010年 KIAI と総務省九州総合通信局所管の九州テレコム振興センターと組織統合 2014年 KIAI 専務理事に就任 (現職)。 現在、愛知県春日市 CIO 補佐、福岡県 (ふくおか電子自治体共同運営協議会) DX プロデューサー、熊本県荒尾市 CIO 補佐、大分県宇佐市 CIO 補佐、宮崎県延岡市 DX 推進アドバイザー就任中。</p>	
<p>こんなことを支援できます</p>	<p>① EBPM 推進・データ分析研修支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務に即活用できる実践的な各種データ分析手法をはじめとした EBPM 推進に向けた総合スキル習得研修の企画・実施 (2025 年度 : 全国 46 自治体実績)。 ・業務問題を掌握し業務課題を選定していくために必要な基本的なフレームワーク、サービスデザイン思考実践に必要なフレームワーク技術習得に向けた研修の実施。 <p>② 自治体 DX 推進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標値・目標値を明確化した DX 計画 (各種デジタル推進施策) の策定支援。 ・自治体 DX アドバイザーとして伴走支援 (2025 年度 : 九州内外 10 自治体実績)。 <p>③ 生成 AI 活用に基づく業務課題解決支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考に基づく生成 AI 有効活用研修実施 (幹部職員向、一般職員向)。 ・業務問題を構造化することによる的確な生成 AI 活用に伴う課題解決支援。 	
<p>自治体向けメッセージ</p>	<p>DX の本質は「データ」にあります。「データ」から価値を見出していくための様々なスキルを一人でも多くの職員の方が理解して欲しいと思っています。</p>	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

EB EBPM

生成 生成 AI 活用

プ プロジェクトマネジメント支援

<地域情報化に関する実績>

・2005年～2008年

九州各県情報ハイウェイ広域接続実験プロジェクトリーダー（次世代高度NW九州地区推進協議会）
防災、教育、地域メディアに関する県境を越えた広域接続実験を産学官体制のもと推進。

・2009年～2011年

九州初となる広域防災ポータルサイトを構築（九州情報通信連携推進協議会）

・2013年～

活動テーマを「地域社会におけるデータ活用力の裾野向上」にシフト。2014年に全国初の初心者向けBigData分析研修事業「Big Data Boot Camp in九州」を開催後、独自の実践的データ分析研修プログラムを開発し、2025年度までに190を超える企業・自治体等へEBPM実践研修事業を展開。

・2021年～

伴走型の自治体DXアドバイザー業務にも着手。2024年度は九州内外11自治体、2025年度は九州内外10自治体に対するDXアドバイザー業務に従事。なお、自治体向けのデータ分析研修に関しては、2024年度、2025年度ともに全国46自治体で実施。